

鹿児島県柔道会より  
第39回県下少年新人柔道大会における、感染拡大防止に係る連絡事項

1 競技に関する感染予防対策について

- (1) 大会前に関係者（選手・部員・指導者・大会役員）からコロナ感染者または濃厚接触者が発生（クラスター感染等）した場合は、大会を中止する事もある。
- (2) すべての関係者（役員・審判員・補助員・顧問・選手・部員）は体調チェック表（県柔道会様式1～3）、参加同意書、を提出する。大会当日、検温を実施し、発熱者（37.5℃以上）や体調不良者の参加は断る。
- (3) すべての来場者はマスクを着用し、選手はアップ中及び試合中以外はマスクを着用すること。また、他との距離を確保（2m以上）し、大きな声での会話、応援はしない。

2 大会運営について

- (1) コロナ感染予防対策として、全柔連ガイドライン、県柔道会ガイドラインを遵守し、選手の安全、大会中の感染拡大予防を最大限に考慮する。
- (2) 会場準備：12日 13：30～（役員、補助員で行う）
  - ・ 3密を避けるために時間差の入場をおこなう。
  - ・ 指定された役員、補助員の入場は 7：30～
  - ・ 監督、選手、選手世話係、役員の入場 8：30～
- (3) 開会式、閉会式を簡略化する。

3 会場について

- (1) 入場制限について（事前に監督、選手世話係は名簿を提出してもらいます。）
  - ・ 1階試合会場・・・選手、役員、補助員のみ
  - ・ 2階観覧席・・・選手待機場所とします。
  - ・ 各チームの監督、選手世話係、役員、補助員には、IDカードを配布する。監督については受付時に全柔連登録IDを提示し、IDケースに入れ大会中は首から掛け提示しておくこと。
  - ・ 2階観客席については、2席空け、1列空けての着席とする。  
（立ち見禁止）
- (2) 会場入り口に消毒液を設置する。トイレに石鹸・消毒液を設置する。各試合場に消毒液を設置する。会場内に感染拡大防止の表示を行い、施設や用具は適宜消毒を行う。
- (3) 感染防止のため、ゴミは必ず各自で持ち帰ること。
- (4) 大会・報道関係者は会場入口で感染防止チェックおよび入場者名簿（柔道会様式）の記入を行う。必ず検温し発熱者（37.5℃以上）および体調不良者は入場を断る。
- (5) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県柔道会に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。